

地震災害対策

地震災害とは？

地震による災害は、津波をはじめ、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液化化現象などがあります。建物の倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなる交通障害や、線路の安全確認により電車が動かなくなる場合もあります。また停電や都市ガスの停止、水道の断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

地震の時の行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する

揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意



3分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 要配慮者の安全確保
- 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないかの確認
- ケガ人はいないかの確認

出火防止 初期消火

- 消火器を使う
- 余震に注意
- 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーをおろす・ガスの元栓を閉める



5分

テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないようにする
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



10分

数時間

3日

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報の収集
- 壊れた家に入らない
- 近くの人の救出・救護



屋内にいた場合

家中

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- 火の確認はすみやかにする（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らないようにする（ガラスの破片などでケガをする）
- 出口を確保する（扉や窓をあける）

大規模店舗や集客施設にいるとき

- つり下がっている照明などの下から避難する
- あわてて出口や階段に殺到しない

エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいた場合

路上

- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する。頭をカバンなどで保護する

車を運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
- 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す

山やがけ付近にいるとき

- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる

